

ハンセン病資料館見学と春の全生園を散策 入居者が植えた人権の森を訪ねる



全生園は、河瀬直美監督の映画『あん』や、近代文学の傑作と名高い北條民雄の小説『いのちの初夜』の舞台にもなっています。

国立ハンセン病資料館は、東村山市の全生園（ハンセン病患者の隔離施設だった）の一角にあり、ハンセン病や長く隔離されてきた患者さんたちの歴史を伝える貴重な場所となっています。ガイダンスビデオ鑑賞後、資料館見学。園内にある食堂で昼食の後全生園を散策します。

園内は入居者の方々が植えた3万本の樹木や春・夏・秋に咲く152種類の草花、歴史的・史跡建造物などが数々あり、全生園全体を「人権の森記念公園」として残し、国民共有の財産、憩いの場所として保存されるよう活動が続いています。【定員10名】

2024年3月28日（木）9：45～15：00

場 所：JR武蔵野線「新秋津」駅 改札9：45集合

※資料館まで徒歩約20分、同駅15時30分頃解散予定

参加費：2,500円 ※昼食代、保険料を含みます

持ち物：飲み物、帽子、歩きやすい服装でご参加ください。

●お申し込み・問い合わせ先



特定非営利活動法人 大人の学校

333-0857 川口市小谷場206 生活クラブ生協内

TEL/FAX 048-423-3313

メール otonano-gakkou@cure.ocn.ne.jp